

平成26年度 特別活動の授業改善のための方針

1 昨年度の成果と課題 (☆成果 ●課題)

- ☆学校生活の様々な場面でノーペーパーで話す機会を設けたために、人前で自信をもって話す児童が増えた。
- ☆あいさつ運動や、廊下を歩く運動などで、学校生活のルールを守って気持ちよく過ごそうという意識をもつ児童が増えた。
- ☆学校行事・委員会・集会・たてわり班活動などで高学年児童がリーダーとなり下学年をリードしていく姿がたくさん見られた。
- 様々な問題について自分たちで考えすすんで解決していく姿勢を身につけさせていく。

2 今年度の児童の実態

- ① 高学年の児童を中心に泉小の生活をより良くしていこうという意欲を持ち、すすんであいさつをしたり、きまりを守って生活したりしようとする態度が身についている。
- ② 下学年の児童も、①のような高学年の児童の姿から学び実践していく姿勢が身についている。
- ③ 行事や委員会、集会活動において、積極的に働く児童が多い。
- ④ 自分たちの問題を自分たちで解決していこうとする姿勢が身についている児童が多いとは言えない。

3 今年度の方策

すすんであいさつし、礼儀正しく、よく働く、下学年のお手本となるリーダーを育てる。

① 授業中の指導

② 全校での指導

1 学級活動

- ・友達とのかかわりを大切にし、諸問題を言葉や話し合いを通して解決する活動の設定

2 児童会活動

- ・代表委員会・委員会・集会活動を学級活動と関連させて行い、学校内の仕事を分担し、処理し、学校生活を向上させる活動の設定

3 クラブ活動

- ・4年生以上の同好の児童により、共通の興味・関心を追求する集団活動の設定

4 たてわり活動

- ・6年生のリーダーを中心とした異年齢集団の交流の工夫

5 学校行事

- ・学校生活の充実と発展を目指した体験的な活動の工夫と設定

- ・学校生活の中で高学年児童の活躍の場面の設定
- ・様々な場面でのノーマイク・ノーペーパーで話す実践
- ・会議の方法など国語科で学習した内容を体験的に理解・実践
- ・道徳・各教科・総合との関連
- ・生活指導との関連
(挨拶運動・廊下を歩こうなどの取り組み)
- ・家庭・地域との連携